

開講学科	建設工学専攻	前橋工科大学 シラバス			
科目名	風景学特論	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		1・2年次	選択	32000901	
担当教員	小林 享	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	木曜日	3限
授業の教育目的・目標	高度な景観論の修得。				
専攻の学習・教育目標との関係	大学の学部教育で培った教養と土木工学の分野に関わる専門知識などを統合化する能力に加え、当該分野に関わるより深い学識と理解、並びに先進・先端技術に関する知識を身につけている。				
キーワード	身体論、意味論、文化論				
授業の概要	「人間の身体の五感に着目した風景の把握」「身体感覚が紡ぎ出してきた風景解釈の歴史的財産の分析」を通して、日本型風景の文化的意味を考察する。				
授業の計画	第1回: 概論:「風景学」とは何か 第2回: 景観論事例 1:「風景学入門」解説 第3回: 景観論事例 2:「風景学入門」解説 第4回: 景観論事例 3:「風景の調律」解説 第5回: 景観論事例 4:「風景の調律」解説 第6回: 景観論事例 5:「風景の調律」解説 第7回: 景観論事例 6:「都市をつくる風景」解説 第8回: 景観論事例 7:「都市をつくる風景」解説 第9回: 景観論事例 8:「都市をつくる風景」解説 第10回: 景観論事例 9:「食文化の風景学」解説 第11回: 景観論事例 10:「食文化の風景学」解説 第12回: 景観論事例 11:「食文化の風景学」解説 第13回: 景観論事例 12:「風景学実践編」解説 第14回: 景観論事例 13:「風景学実践編」解説 第15回: 総括				
受講条件・関連科目	原則、学部の景観原論、景観工学を履修していること。				
授業方法	講義が中心である。				
テキスト・参考書	『風景学入門』、『都市をつくる風景』、『風景学実践編』中村良夫著、『風景の調律』、『食文化の風景学』小林 享著、他				
成績評価	・期末試験(50%) ・レポート(50%)・その他() 注意事項				
履修上の注意	原則、建設工学専攻の大学院生を対象とした講義である。				